

トカゲやカエルの化石

「恐竜」、誰もが一度は耳にする言葉で、老若男女問わず注目を集める生物かと思えます。最近では北海道のむかわ町穂別から発見された通称「むかわ竜」が新属・新種として報告され、記憶に新しいと思います。その恐竜が兵庫県からも発見されていることを皆さんはご存じでしょうか？

ひとはく 研究員 だより

主任研究員 池田忠広さん

2006年8月、地域の地質愛好家が、丹波市山南町上滝の同層から灰褐色の物体を発見しました。博物館に持ち込まれ、研究員が鑑定したところ、恐竜の化石であることが判明しました。これが通称「丹波竜」の最初の発見です。これを機に、大規模な発掘調査が複数回にわたって行われ、丹波竜に加え多くの動物化石が発見されています。実は私はこの人気者の恐竜ではなく、「その他」と揶揄されがちな生物、「トカゲ」や「カエル」の化石を専門に研究しています。



篠山層群で次々と新種

トカゲやカエルは世界中のあらゆる地域に生息しており、種の多様性も高く、カエル類で約7千種、トカゲ類で約6500種が現在確認されています。その起源は古く、恐竜時代といわれる中生代にさかのぼり、ジュラ紀・白亜紀を通して進化し、多様性を増していったと考えられています。しかし、その過程には多くの議論があり、現生種の遺伝子情報だけではなく、各時代の直接的証拠である化石の研究が重要な役割を果たす場合があります。

篠山層群の化石では丹波竜が注目を集めがちですが、実は日本や世界で名だたる太古のトカゲ、カエルの化石産地といっても過言ではありません。事実、多数の化石が発見されており、研究の結果、少なくともトカゲ類で6タイプ、当時の環境や生物相全体プ、カエル類で2タイプが確認されており、15年には新種だけでなく、包括的な研究が認められています。必要です。

「パキゲニス・アダチイ」、16年には新属・新種「ヒョウゴバトラス」が「タンババトラス」が報告されています。これらは非常に小さな生物ですが、個々の進化の系譜をたどる上では重要な資料です。お伝えできるように研究を進めたいと思います。どうぞご期待ください。



① パキゲニス・アダチイ
② ヒョウゴバトラス
ワダイ